

一般会計予算総額149億

一般会計 歳出（性質別）

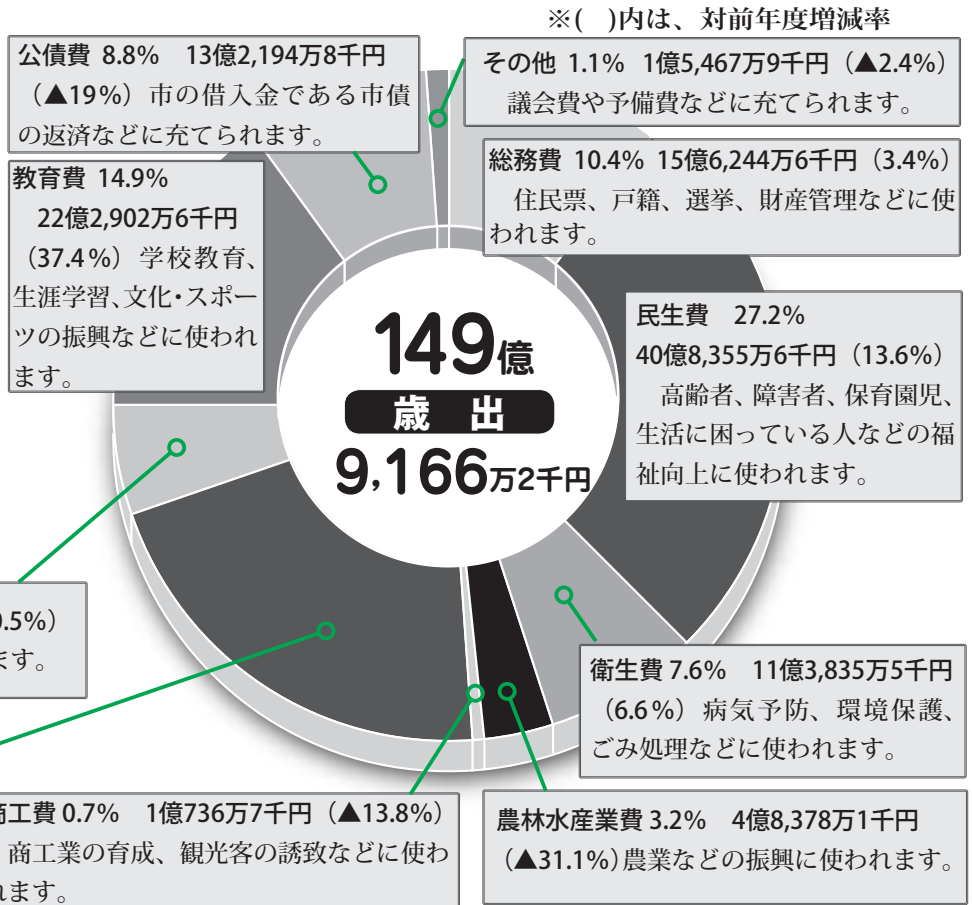
名称	金額	対前年度増減率
人件費	3,089,410千円	0.1%
物件費	2,217,465千円	15.1%
維持補修費	68,476千円	▲25.1%
扶助費	1,857,714千円	43.5%
補助費等	2,440,327千円	▲4.3%
普通建設事業費	2,069,431千円	53.4%
災害復旧事業費	1千円	0.0%
公債費	1,321,948千円	▲19.0%
積立金	2,474千円	▲48.6%
投資及び出資金	20,089千円	9.9%
貸付金	26,040千円	▲18.8%
繰出金	1,868,287千円	0.0%
予備費	10,000千円	0.0%
合計	14,991,662千円	8.1%

数の減に伴い、ほぼ前年並みの0・1割増の30億8941万となりしました。

扶助費は、本年6月から支給される予定の子ども手当の創設などに伴い、対前年度比43・5割の増となりました。

普通建設事業費は、2〜3ページで述べたとおり、骨格予算のため、新規事業を見合わせました。しかしながら、これまでに着手した事業については継続事業とみなし、53・4割増の20億6943万1千円となりました。またこれらの事業には、国や県などの補助金等が投入されていることから、今後も国の補助金などを活用し、「活力に満ちたうるおいとやすらぎのまち」を目指し、元気な地域づくりを一層推進していきます。

一般会計 歳出（目的別）



問 伊奈庁舎財政課
58・2111（内線1231）

- ▼ 県からの補助金などです。
- ▼ 市債：地方公共団体（市）が行う事業で、特に大きな事業を実施する場合などに、必要な財源を調達するために借入れるお金です。
- ▼ 【歳出（性質別）】
- ▼ 人件費：議会議員の報酬や職員給与などです。
- ▼ 物件費：賃金、旅費、需用費、委託料など消費的性質のお金です。
- ▼ 扶助費：社会保障制度の一環として、高齢者、児童、障がいをお持ちの方などに対して支援を行うお金です。
- ▼ 補助費等：市から他の団体などに行政上の目的から支払うお金です。
- ▼ 普通建設事業費：道路や公共施設の新増設に必要とされるお金です。
- ▼ 公債費：市の借入金の返済に充てるお金です。
- ▼ 貸付金：地域住民の福祉増進や地域の振興を図るため、市が直接あるいは間接的に現金の貸し付けを行うためのお金です。
- ▼ 繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用するためのお金です。